



碧南ロータリークラブ週報

第3030回例会 令和4年10月5日(水)

- 会長 長田 和徳
- 幹事 清澤 聡之
- 会場監督(SAA) 縦山 朋久

2022-2023 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 鈴木 洋・長田一希・杉浦保子

●本日のお弁当

大正館

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。本日の例会もよろしくお願い致します。

毎日、朝のニュースでもやっていると思いますけれども、今週はノーベル賞受賞の週間になります。ノーベル賞はダイナマイトの発明者として知られるアルフレッド・ノーベルの遺言によ

って、1901年から始まった世界的な名誉ある賞です。ノーベ

ル賞は大体毎日1個ずつ話が出ると思うんですが、月曜日から言うと、物理学賞、化学賞、生理学・医学賞、文学賞、平和賞および経済学賞の5+1分野で、人類に最も大きな貢献をした人物・顕著な功績を残した人物に贈られます。経済学賞だけは1969年にできたものですから、ノーベルの遺言にはなく、ノーベル財団は同賞をノーベル賞とは認めておらず、この賞を「ノーベル」を冠しない「経済学賞」と言われております。

現在までの日本人のノーベル賞受賞者は28名いらっしゃいます。近年では立て続けに日本人の研究者が受賞しておりますが、今後はお先真っ暗になるのではと言われております。これは国立大学や研究機関への国からの運営交付金は毎年削減されている一方、予算獲得の為に必要な膨大な事務作業を強いられることなどから、結果的に日本の研究が危機的な状況に陥っているそうです。

近年の文部科学省が発表したデータによれば、日本の研究論文数は横ばいであるものの、他の研究者から多く引用される優れた論文である「トップ10%論文」においては、1997年では世界第4位でしたが、2017年からは第10位と大幅に低下しております。「就職についての不安が頭から離れない」、「見通しの悪い将来が不安」という声は、日本の科学技術の将来を担うと言われる理系の博士課程を志望する学生たちから漏れ聞こえる悲痛な叫びです。修士課程を終えて博士課程に進学する人は、ピークだった2003年度の約12000人から昨年度は



長田和徳会長

6000人弱と半減しました。研究者を目指す若い世代が減っているのが現実です。ノーベル賞受賞者の方たちからも、科学技術立国日本の存続が危ういと訴える声があがっております。

基礎研究というのは国力を表していると思います。先日のUFJ懇話会でアナリストの方が言われておりましたが、貿易収支が赤字の国は必然的に通貨が安くなってしまふのはどうしようもない真実です。オイルショック以来、50年ぶりの大幅赤字だそうで、海外に輸出できるものが自動車産業のみという事態で、今後の日本の未来がお寒い状態なるということをお大変危惧しております。

本日も1日よろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ ローターレートの変更でございます。現行1ドル139円から145円になりました。
- ・ ガバナー月信10月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ My Rotaryにご登録されていない方にアカウント作成方法の手引書を配布させていただきました。ご登録をよろしくお願い致します。
- ・ 本日の例会終了後に理事会を開催致しますので、該当会員の方はよろしくお願い致します。



清澤聡之幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60名 (内出席免除者 15名の内出席者 12名) 出席者 51名	
出席対象者 51/57名	出席率 89.47%
欠席者 9名 (病欠者 1名)	

<ニコボックス>

- 清澤 聡之君 お誕生日のお花をありがとうございます。本日はちょうど当たり日です。
- 木村 徳雄君 米山記念奨学にこの度こころよく寄付をしていただきました、皆様ありがとうございます。又、まちがえて電話をしてしまった皆様、混乱させてしまいましたすみませんでした。今後共皆様のご協力をよろしくおねがい致します。
- 鈴木 泰博君 10月2日、長男の結婚式でした。楽しい時間を過ごすことができました。
- 岡島 晋一君 9月30日発表の「全国醤油品評会」にて、当社の「さしみたまり」が“農林水産大臣官房長賞”を、「白しょう油」が“優秀賞”を頂く事が出来ました。有難うございます。
- 鈴木 洋君 本日、私のりれき書を発表致します。よろしくおねがい致します。

小林 清彦君 本日、卓話をさせていただきます。今回、皆さんが知る機会の少ない医療・介護業界の変化と当法人の取り組みについて、話をさせていただきます。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

2日 鉄村 良朗君 3日 黒田 昌司君 5日 清澤 聡之君
9日 平岩統一郎君 24日 岡島 晋一君 29日 杉浦 勝典君

奥様誕生日

3日 山中 寛紀君の奥様 恭子様 6日 杉浦 栄次君の奥様 ちづる様
12日 小林 清彦君の奥様 登美子様 17日 谷川 勝哉君の奥様 かおり様
18日 奥田 雪雄君の奥様 万里子様 21日 宮地 秀夫君の奥様 陽子様
25日 平松 則行君の奥様 啓子様 25日 石川 鋼勇君の奥様 絵梨子様

結婚記念日

6日 藤関 孝典君・千智様 38年 8日 谷川 勝哉君・かおり様 27年
17日 牧野 勝俊君・ひろみ様 35年
18日 鈴木きよみ君・正徳様 50年 (金婚)
23日 鈴木 健三君・美津子様 39年 24日 鈴木 並生君・まゆみ様 51年
26日 栗津 康之君・尚子様 31年 26日 大竹 密貴君・弥生様 26年
30日 植松 敏樹君・圭子様 55年

入会記念日

23日 宮地 秀夫君

卓 話

「私の履歴書」

会員 鈴木 洋君



鈴木 洋君

本日、「私の履歴書」を発表致します鈴木洋です。どうぞよろしくお願ひ致します。お題としまして、「私の人生のターニングポイント」ということにさせていただきます。

まずは私の生い立ちを簡単にご説明致します。1974年8月24日に碧南で次男として生まれました。3人兄弟の末っ子でして、兄と姉がいるんですけども、兄は頭も運動神経も良くて凄く比較されましたので、ちょっとひねくれて育ったのかなあと私自身思っております。西端で育ちまして、西端小学校、西端中学校を卒業しております。高校は刈谷北高校を卒業しまして、その後、中京大学に進学したんですが、大人の事情で中退しております。

趣味はバイクとゴルフでして、あと皆さん気付いていらっしゃるかもしれませんが、人間

観察が大好きで趣味とさせていただいております。真ん中の写真は実家に父のホールインワン記念のトロフィーがあったので、それを写してきました。

今は独身なんですけれども、1995年7月に結婚しております、今日も奥様誕生日のお祝いがありましたけれども、私の元妻も10月が誕生日だなあと思って聞いておりました。とはいえ、3男1女の計4人の子宝に恵まれまして、その点については元妻に感謝しております。

ここからは私の人生のターニングポイントを7つご紹介したいと思います。1つ目が「鈴木昭洋の息子として生まれる」ということで、これが私の人生の最大のターニングポイントじゃないかなあとは今も思っております。皆さんご存知の通り、私の父はとてもハチャメチャな人でした。そのくせ人に気を遣ったり、心配性だったりというのは子供心に見ておりました、よく寝れないと愚痴っていたのを憶えております。娘には凄く優しく、息子2人には男たるやというものをこんこんと教えられた記憶しかないぐらい厳しい父親でした。父親の生き方を見て、太く短くというか本人はどうだったかわからないですけれども、私から見たらちょっとうーんという生き方じゃないかなあというので、反面教師とっていたんですけれども、やっぱり蛙の子は蛙ということで、最近はこちら「似てるね。」と言われます。少しでも父親よりも長生きしたいと思っております。

2つ目は「高校でラグビーに出会う」ということで、私は高校時代にラグビー部に所属しておりました。高校入学時は女性にとにかくモテたいと思ひまして、最初はバスケットボール部に入部しようと決意をしていたんですけれども、ある友人から「一緒にラグビーをやろう。」としつこく誘われまして、私は体がそんなに大きくなかったので通用するかと思ったんですけれども、その時初めて知ったんですが、私の体型でもやれるポジションがあるということを知りまして、入部を決意しました。最初は渋々入部をして、あんまりやる気がなかったんですけれども、やっていく内に段々と面白くなってきて、同級生にも恵まれまして、花園を目指せるぐらいのチーム力を付けることができたんですが、結果は出場することができませんでした。良い仲間と出会えたなと思っております、今でも一緒にゴルフに行ったり、飲み会をしたりしております。

3つ目は「21歳で結婚をする」ということで、私は凄く早く結婚しましたが、23年間の結婚生活に3年程前にピリオドを打っております。現在、バツイチということなんですけれども、結婚が早かったこともありまして、一番下の子が今大学1年生なんですけれども、それ以外の3人は成人してしまっていて、手が離れておりますので、その点は良かったかなあとは今も思っております。息子が3人いるんでその内の1人が会社に入ってくればなあと思っておりますが、そんなに期待せずに気長に構えております。

4つ目は「株式会社鈴木紙器に入社する」ということで、大学を中退した時に父親から「勘当だ。」と言われまして、何をやるかなあと思っている時に若かったのもあるんですけれども、車のレーサーになろうと思ってチャレンジしたり、お笑い芸人になろうと勉強したり、色んなことをしたんですけれども、フラフラしている時に前任の社長に「会社に入りなさい。」と誘っていただきまして、父親は反対したんですけれども、渋々了承していただきました。もし、会社に入社していなかったらと思うと、今頃は有名なお笑い芸人になっていたんじゃないかなあとは思いますが、今となっては現在が正解なんだろうと思っております。

5 つ目は「碧南青年会議所 (JC) に入会」ということで、これも私にとって大きなターニングポイントでして、JC に入会していなかったら本当にろくでもない人間になっていたと思います。奉仕・修練・友情という活動の基本の下で、先輩の方々に揉まれ、可愛がっていただきましたので、本当に楽しく過ごすことができました。有意義な JC 生活を送ることができたと思っております。

6 つ目は「弊社東北工場に左遷される」ということで、2012 年に父親から「お前が行って立ち上げろ。」と言われてまして、行ったんですけれども、行く時は本当に頭が真っ白で、こっちのお客さんのことだったり、家庭のことだったり、JC のことだったりで頭の中がくちゃくちゃになりながら立ち上げたんですけれども、今となっては私の人間として、経営者としての技量はここで培われたのかなあと思っております。

7 つ目は「碧南 RC に入会」ということで、普通では私ごときが喋ることができないような凄い方たちとこのような時間を過ごさせていただけのこと、誘っていただいた方、入会を承認していただいた皆様のおかげだと思っております。本当にありがとうございます。これからも日々精進してまいりたいと思っております。

最後に弊社の紹介をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。株式会社鈴木紙器は昭和 30 年に棚尾地区で、個人で紙器製造販売を開始しております。現在はダンボールケース、プラスチックダンボールケースもやっております。あと、各種梱包資材を製造販売しております。拠点としまして、碧南本社工場、安城工場、東北工場 (宮城県)、九州鈴木紙器 (福岡県) がございます。新規事業として、「スズギア」というブランドを立ち上げておまして、防災グッズ、キャンプ用品、介護用品として使える「どこでもスズトイレ」、「どこでもスズダイニング」というのがありまして、全部ダンボールでできておりますので、SDGs にも繋がります。皆様、ご購入の際はご用命いただければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

長々とすみません。これで終わりたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

会員 小林清彦君

皆さん、改めまして、こんにちは。

入会 3 年目にして皆さん方の前でお話をさせていただく機会をいただきました。今回は「私の履歴書」というタイトルではあるんですけれども、ロータリーの中では自分というものを知っていただく機会というふうに捉えております。そこで、私の過去というよりもどんなことに取り組んできたのかという仕事の中身から私のことを知っていただこうと思っております。よろしくお願い致します。

私の出生地は東京都杉並区になるそうで、父親の仕事の関係で東京の大学にいた時に 3 人目の子として生まれました。正確に言うと兄がいたんですけれども、生まれてすぐに亡くなったので、次男ではあるけれども長男ということでもあります。姉 2 人、弟 1 人の 4 人兄弟で



小林清彦君

す。1976年12月25日生まれで、今年で46歳になります。祖父の名前と父の名前の一部を合わせて「清彦」になったと聞いております。免許としては歯科医師をっておりますが、臨床研修をやっている時に父から「経営者をやらないか？」と言われてまして、病院の中で医師じゃない者は医師になれなかったんですが、経営者として長男の責務を果たせるかもしれないと思い、歯科医師を辞めて経営者を目指しました。そこから一宮大雄会という大きな組織の事務員として経験を積みまして、今に至っております。

医療法人、社会福祉法人、株式会社を総称して愛生館グループと言っております。設立が1945年11月3日で、今年こども園という新しい組織を作った兼ね合いもありまして、従業員数が1,000人を超した規模感となっております。あと、医療や福祉に携わっていることもありまして、愛知県老人保健施設協会の副会長や愛知県医療法人協会の理事等、色んなところの仕事もやらせていただいております。また、介護職は3K（きつい、汚い、危険）といったところで魅力を感じないという方が多くいらっしゃいます。その時に仕事に関わっているからこそ魅力を伝えたい、海外から介護の技能実習生を受け入れるということで業界でも動いておりますが、日本に住む人たちから見放された仕事に未来はないだろうということで、私共は海外技能実習生を一切受け入れずに日本に住む人たちに情報発信を行っております。特に若い方には支援ということで、2016年から色んなところで介護の仕事の魅力を伝える活動もしております。

先週の土曜日になるんですけれども、テレビ愛知の取材で、SKE48の須田亜香里さんが私共の施設に来られました。須田亜香里さんが介護を学べる学校や介護施設を訪問し、マイナスイメージを持たれることが多い介護現場の魅力を伝えるべく介護の今や進化を伝えるということで、介護職を目指す高校生や全く知識のない高校生が最新設備を使った介護現場で体験する姿やハイテク機器を導入している施設で学んでもらうという内容でした。今日、皆さん方に資料を配布させていただいております。11月11日は介護の日でして、11月21日、28日の少し遅い時間なんですけれども、今回の私共の施設の体験が放映されますので、興味がある方がいらっしゃいましたら、是非見ていただければと思います。

ここからは愛生館の事業概要のお話をさせていただきます。愛生館グループの歩みと致しまして、

- ・1945年 小林医院 開設
- ・1984年 小林記念病院 196床増床
- ・1998年 老人保健施設ひまわり 52床開設
- ・2004年 回復期リハ病棟 26床開始
- ・2006年 第1回 経営計画発表会 開催
- ・2018年 特別養護老人ホームひまわり 60床開設
- ・2020年 特別養護老人ホームひまわり・安城 100床開設
- ・2022年 認定こども園等複合施設 開設

ということで、終戦の1945年から結核等の病院対応。そして、医療から介護というものが必要になってきたので、医療と介護の複合体。そして、現在は人と人との繋がりが薄れている時代だからこそその地域共生への歩みというものを進めております。このような時代背景を踏ま

えまして、高齢者や医療ということだけではなく、100年時代だからこそ「0歳から100歳までの方々を支援する仕組みづくり」を通して、地域の方々に「愛生館があって良かった。」と思っただけの事を目指しております。

我々の日常を取り巻く社会の変化について少しお話をさせていただきます。私は行ったことがないですが、ニューヨークの5番街に100年前に人が多く集まっておりました。その当時の主流というのが馬車でした。T型フォードという車が発売された5年後には馬車が全くいなくなりました。実は日本においても様々な変化があると思っております。先日、厚生労働省のデータを見た時に引退期が75歳からになっておりました。国は74歳まで働くことをイメージしているということになります。74歳まで働ける環境づくりを我々事業者が準備しなければいけないんじゃないかという危機を感じました。

こちらは日本の人口の推移になります。下の赤い部分が高齢者の占める割合でして、これが74歳まで就業することになると、後期高齢者と言われている世代から高齢者というふうになれば、高齢者の占める割合は変わってくると思っております。何故それをしなければいけないのかというと、日本の人口減少に関わってきます。2010年に約1億2800万人いたものが、2050年には1億人を切り、2100年には5000万人を切るというデータがあります。これから80年間かけて半分以下になるという急激な人口減少をしていく中で、我々の業界の世界の人口は増えているので、世界に打って出るのではなく、地域に根ざした医療・介護・福祉を提供して、安心して暮らせる生活を作っていくという意味では、この人口というものが大きく関わりを持っているところでございます。あと、人口数の変化だけではなく、疾病の変化というものが大きくあると思っております。

私の考える目指す姿というのは、地域を支えていくことだと思っております。そういった中で、セーフティネットの医療・介護・福祉を多重構造化することによって、安心して暮らせる地域を目指していきたいと思っております。これからもこの地域にとって必要なものを事業として行っていきたいと思っております。今後ともご指導をよろしくお願い致します。

以上で私の発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。

次回例会案内

令和4年10月26日（水）

卓話「私の履歴書」 会員 宮地秀夫君、谷川勝哉君